

神奈川歯科大学 同窓会会報

138号 2023年7月



Kanagawa Dental University Alumni Association

<https://inaoka82.com/>



巻頭言	会長 大館 満	2
歯科・健脳クリニック日本橋開院記念祝賀会	鹿島 勇	3
神奈川歯科大学の思い出、教師の醍醐味、そして未来へ	長谷 徹	4
NPO 活動法人 神奈川歯科大学南東アジア支援団 KDU-SAS ミャンマーの活動の概要	平田 宗善	6
女性の副会長から見た	鈴木 佑子	7
監事就任挨拶	奥村 敏之、七沢 久子	8
第 97 回代議員会報告		9
令和 3 年度一般会計歳入・歳出決算 収支計算書		12
令和 5 年度一般会計歳入・歳出予算		13
会務報告（令和 5 年 1 月から 6 月まで）		14
令和 4 年度第 1 回表彰選考委員会報告		15
令和 4 年度第 1 回奨学者審議部会報告		16
第 8 回ジャカランダ・フェスティバル 市民大感謝祭		17
学術講演会報告 「歯周病・インプラント治療のティッシュマネージメントの実際」 ／児玉利朗先生	山野 悟志、若林 孝明	18
「修復治療の現在と明るい未来」 ／山崎長郎先生、内山徹哉先生	中尾 伸	19
同窓便り 東海地区連合		21
群馬県支部		22
愛媛県支部		23
クラス会報告 24・25 回生合同クラス会	佐貫田 尚亮	24
卒業生のページ 南海の桜－ジャカランダ－	兵頭 亨治	25
褒章・叙勲受章 令和 4 年秋の叙勲		26
お知らせ		27

- 表紙題字：大館 満 会長
- 表紙写真：事務局
- P.21～P.23の「同窓便り」に公益社団法人 日本歯科医師会 広報課より許可をいただき、日本歯科医師会 PR キャラクター「よ坊さん」のイラストを使用しています。

巻頭言

2023/7

神奈川歯科大学同窓会
会長 大館 満



皆様には日頃より同窓会活動に対しご理解とご協力を賜り心より御礼申し上げます。

長年、コロナ禍で不安な生活を余儀なくされてきましたが、令和5年5月8日から5類感染症に移行され平常の生活に戻りました。もちろん、まだまだ注意が必要ですが今まで置き去りにしてきた事柄を一つ一つ解決していきたいと思います。

同窓会で進めた、口腔ケアでウイルス対策「新型コロナウイルス感染予防、重症化防止支援プロジェクト」に対して皆様の3年間にわたるご協力を心より感謝いたしております。新設12校の同窓会の支援、日歯連盟の協力も得て、患者さんレベルで国内にじわじわと口腔ケアの重要性が理解され広がっていきました。多くの要因があると思いますが、結果として歯科医院でのクラスター感染は3年間一件も発生せず、歯科診療の安心と安全に少しは貢献できたと思っています。このことは日頃、歯科診療を生業とする我々の利益だけでなく国民の健康、そして国民の歯科界に対する信頼感を十分得られたと考えています。

また、歴史を振り返った時、「未曾有の国難の中で歯科界は何をしていた」との間に歯科医によるワクチン接種はもとより、コロナ予防を目的とした「口腔ケアの伝道師を務めた」と誇りを持って語っていきたくと思っています。

さて、4月に新年度を迎えましたが以降、大小の地震が頻繁に発生しております。地震頻発の原因で私は地球温暖化の影響を否定しません。今年も豪雨や台風による自然災害も多く発生すると予想されています。温暖化防止のため同窓会もSDGsを念頭に活動を行ってまいります。

例えば、理事会、常務連絡会、その他の会議の一部、学術講演会をオンライン、参集とオンラインのハイブリッドで遠方の方への利便性を考慮しこれからも進めていきたいと思っています。飛行機や新幹線を使って参加する場合の交通費や宿泊費などの金銭的な節約のみならず、最終的に二酸化炭素の排出量の軽減に貢献できると考えております。ただし、代議員会、選挙など現状の会則では参集が基本ですので今後、会則の見直しなど会員の

皆様のご意見をお聞きして進めてまいりたいと考えております。

また、会議等で使用される紙媒体を減らすことも必要だと思っています。コロナ禍のオンライン会議で紙媒体から脱却のヒントを得られました。理事会で協議しアイデアを注ぎ進めてまいります。同窓会ホームページの刷新により今以上にIT化を進め効率化を進めて参りたいと思います。

同窓会では新型コロナウイルス感染予防の観点から同窓会創立50周年を中止、延期させていただきました。来年以降の開催を検討しておりましたが来年、全国歯科大学同窓、校友会懇話会の主管の役割が輪番で回ってきました。この懇話会の運営に全力を注いでまいりますので周年行事の延期を検討いたしております。会員の皆様にもご理解をいただきたくお願い申し上げます。

一昨年から学校法人神奈川歯科大学においては本館建て替えを中心としたキャンパス大改造を行っております。それに伴い「キャンパス改造事業募金」を募集しております。令和5年3月31日締め切り予定で進めておりましたが大学から4月1日以降も継続するとの報告を受けております。改めて母校の発展のためにご協力をお願いいたします。

また、ここ数年、少子化の影響で受験生の減少が始まっておりますが、昨年度は予定通り定員を維持しており、安堵しておりますが年を経るごとに状況は悪化していくと考えられます。同窓会としては優秀な学生を集め、輝く神奈川歯科大学目指して応援していきたいと考えております。

卒業生の「子女枠」を改め卒業生の推薦で子女でない受験生も認める「卒業生推薦枠」となり、入学金の一部も軽減され、気楽に推薦できる制度となっております。皆様の近隣のお知り合いの子女でも可能ですのでご紹介のほどよろしく願いいたします。

まだまだ再蔓延の不安はありますがコロナ後の新しい時代を見据えて1歩1歩着実に進めたいと考えております。皆様には今後ともご高配とご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

開院に至る経緯について



神奈川県立歯科大学 理事長 鹿島 勇



本日はご多忙の中、歯科・健脳クリニック日本橋開院記念祝賀会にご臨席賜り誠にありがとうございます。法人を代表いたしまして心より厚く御礼申し上げます。

さて、私共は歯科・健脳クリニック日本橋と題した医療機関を日本橋三越本店の新館5階に令和5年4月に開院いたします。このクリニックは歯科医療と認知機能低下から認知症までの診断・治療・予防を組み合わせた医科・歯科連携の脳機能・口腔疾患医療施設のことでございます。

開院に至った背景は、国の人口動態とそれに連動する財政指標を基にした構想から始まりました。

人生100年時代を考えた時、世代別人口統計でピークを示す団塊の世代が100歳になるまで25年かかります。その25年後、次のピークである団塊ジュニア世代が100歳になるまでさらに25年かかり、日本は50年以上続く超高齢化社会を迎えることになります。そして、65歳以上の3人に1人が認知症あるいはその予備軍と言われます。さらに40歳以上の70%が何らかの形で認知症の原因の1つである歯周病に罹患していると言われます。

一方、国の財政指標を表す歳入と歳出とのバランスは、赤字として大きく乖離しており通称ワニの口と呼ばれています。この赤字の原因が、社会保障制度の中の医療保険と介護でありますことは、ご列席の皆様もご承知のことと思います。そこで、この財政状況と先程の人口動態とを重ね合わせた時、見えてくるのは認知症とその介護によってさらに大きく開いていくワニの口でございます。さ

らに少子化対策、グリーン転スフォーメーション、防衛力強化等の特別の歳出によりワニの口が閉じていく要因は見当たりません。

これらの要因を背景に、私達はいずれ社会的、政治的そして財政的問題となるであろう認知症に着目してまいりました。その結果、認知症の病態とその原因の1つである口腔疾患とを組み合わせた新しいコンセプトの医療機関の創発へと至りました。

では、なぜ日本橋三越本店なのかと申しますと、まず花のお江戸の日本橋に立地した350年の歴史を有す老舗百貨店であることです。その完成されたブランド力は、今回の構想に賛同し、インパクト投資（短期的な金銭的利益ではなく、将来を見据えた企業側の付加価値を高める投資）企業の獲得に繋がります。そして、百貨店側の発想の転換によるモノ（物）からコト（事）そしてトキ（時）への新しい価値の追求と本学が目指す社会的価値の創造で価値観が一致したことにあります。さらに、百貨店側には、今回の構想実現へのスタートアップに必要な条件の要望に概ね同意していただきました。最後にセレンディピティ（必然的偶然）ともいえる不思議な出会いによる御縁と私の直観に他なりません。

この度の歯科・健脳クリニック構想は、日本の超高齢化社会が抱える課題への1つの挑戦と捉えております。

本日は、暦の上では仏滅となっておりますが、実は一粒万倍日と申しまして、新しいプロジェクトを開始するのに大変縁起の良い日とされています。ご列席の皆様方には御支援と御協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

本日はご臨席賜り、重ねて厚く御礼申し上げます。



神奈川歯科大学の思い出、教師の醍醐味、そして未来へ



神奈川歯科大学短期大学部 学事顧問 長谷 徹

神奈川歯科大学短期大学部の学事顧問を拝命しております12回生の長谷 徹です。これまで短大学長就任時には会員の先生方には大変お世話になり、また、この度は大館満会長、川端啓義常務理事より本会誌への寄稿のお誘いを戴きありがとうございます。学長職を定年退任し、学事顧問というちょっと肩の荷を下ろさせていただいた今、これまでを振り返ってみたいと思います。

何れの先生にとりましても学生時代の思い出は何物にも替え難いもので、特に将来の自分の姿を具体的にイメージした大学生活は尚更です。私達12回生の入学式は昭和50年4月でしたが、講堂での式典に続いて行われたオリエンテーションでの長田保病院長の澆刺としたお姿とその温かい語り口は印象的で、ほぼ半世紀前の出来事であるにもかかわらず昨日の如くしっかりと心に刻み込まれております。また、福沢鶴美先生の超難解な物理の授業、坪内士行先生の心の叫びともいえる文学の授業など当時は名物先生といわれる方が数多くおられました。そして、学年が進み、通過儀礼の薬理学、生理学の集中実習では得難い達成感といよいよ歯科医学の高い専門性を学ぶのだという気構えを与えられ、学生生活の充実度はさらに高まりました。今思えば、助け合い、支え合っていたクラスメートからチーム医療の原点を、一方で先輩方から

の心強い応援があったからこそ今の自分があると懐かしく思い出されます。私は写真部に所属しておりましたが、その中でも二人のK先生、二人のM先生、二人のN先生に一人のH先生には学生時代、そして卒業後も現在に至るまで大変お世話になっており、久しぶりに再会すれば即座に学生時代にタイムスリップしてしまいます。

卒業後は入学時の鮮烈なイメージが忘れられなかったからか、恩師長田先生率いる保存学第3講座(歯内療法学教室)に所属し、ここでも多くの先生方の知己を得、広く、深く人生経験を積ませていただきました。ただ、今思い返しますと、折角の御指導も自分自身の許容能力の狭さから台無しにしてしまうことも多々あったのではなかったかと思えます。この場を借りてお詫びいたしますとともに、そのエピソードの一つを紹介したいと思います。

先ほども述べましたとおり、私は多くの方々のお蔭で今日があるのですが、その一人に恩師檜垣旺夫先生が居ります。押しも押されもせぬ名物先生の一人ですが、家内の所属する主任教授ということもあり、私にも大変親しく接していただいております。そんなある時、オペラに行かないかと誘われました。当時、オペラのチケットは若い医局員には高嶺の花、しかも門外漢の私共が聴いても全く価値がないと何度もお断りしていたのですが、3度目に『これは教授命令だ』と言われて戴いたのが上野文化会館でのベルディ『運命の力』でした。ところが、食わず嫌いと申しますか無教養とは恐ろしいもので、歯科界に止まらず広い交友関係をお持ちの檜垣先生の指南は素晴らしく、私達は一度で魅了されました。その後、二度、三度と鑑賞するうちに『次回はいつでしょう』と檜垣先生に強請る有様、人間とは浅ましいものです。でも、このオペラの話が縁で湘南短期大学(現神奈川歯科大学短期大学部)に移動した折には、自他ともに認めるオペラ狂であった当時の野口学長とも大変親しくさせていただくことができ、正に運命の力を感じたのでございます。

早いもので、私は神奈川歯科大学に入学して48年、振り返りますと歯科治療が大好きな自分にもう一人、



卒後4年目の医局納会、長田先生を囲んで。
(昭和60年3月27日撮影)
矢印左が私、矢印右が現短大学長の石井先生です。



令和2年11月、長年の短大教育への功績により
文部科学大臣表彰の栄誉に浴しました。

色々な方々との巡り合いの中で人に教えることの嬉しさ、楽しさを教え込まれた半世紀でもありました。そんな学生指導の中で到達した思いは、「難しいことを易しく」、これが全てです。学生は難しいと思った瞬間に勉学を止めてしまいます。難しいのが当たり前の歯科医学を平易に噛み砕き、工夫して簡単な身近な例え話に代えて理解してもらい、これができなければ教師として失格です。理解が深かまれば面白さに繋がり、

面白くなるとさらに勉学の意欲が増すという好循環が生まれます。そして、一度勉学の面白さを知った学生は卒業後の人生も大きく広がるはずで。これこそ教師の醍醐味ではないでしょうか。

私の教員人生、平成13年4月より短大の歯科衛生学科に籍を置き、特に歯科衛生士国家試験の指導責任者を今年の3月で連続16年間勤めております。つまり16回の国家試験を指導してまいりましたが、昨年に続き今年も全員が合格、通算で9回目の100%を達成いたしました。これには歯科衛生学科全教員の努力とそれに答えてくれた卒業生の頑張りの賜物と感謝しておりますが、私の教育哲学も少しはお役に立てているのではないかと秘かに自負しております。そして、多くの学生・後輩への指導を通して私は教えることの喜び、生き甲斐に気付かされた幸せな教師人生であったと感じております。

最後に、これまで長い間、鹿島勇理事長先生をはじめ私に関わっていただいた全ての方々はこの場を借りて心より御礼申し上げますとともに、あと少しではございますが、教育現場に身を置いて恩返しに専念したいと存じております。ありがとうございました。

明日の口腔医療に貢献する歯科用機器・サプライ・書籍の総合商社

今日もTRADスピリットで。

大正12年の創業以来、田中歯科器械店は、伝統を守りながらも常に環境の変化に対応し、革新し続けることで発展してまいりました。そのスピリットを表現するシンボルがTRAD。

Traditionを意味するだけでなく、Tanaka Realize Advanced Dentalという強い意志を表しています。田中歯科器械店はこれからもTRADスピリットで、国民の口腔医療に貢献してまいります。



株式会社 田中歯科器械店

- 本社
〒102-8139 東京都千代田区富士見1-3-8
Tel 03-3230-2386(代) Fax 0120-418-550
- 神奈川支店
〒238-0004 神奈川県横須賀市小川町26-3
Tel 046-826-1640(代) Fax 0120-182-999
- 新潟支店
〒951-8151 新潟県新潟市中央区浜浦町1-41
Tel 025-267-1080(代) Fax 0120-438-020
- 日本歯科大学営業部附属病院売店
〒102-0071 東京都千代田区富士見2-3-16
日本歯科大学附属病院内
Tel 03-3263-9525(代) Fax 03-3263-9553
- 日本歯科大学営業部生命歯学部売店
〒102-0071 東京都千代田区富士見1-9-20
日本歯科大学生命歯学部内
Tel 03-3265-8977(代) Fax 03-3265-0570
- 日本歯科大学新潟生命歯学部売店
〒951-8580 新潟県新潟市中央区浜浦町1-8
日本歯科大学新潟生命歯学部内
Tel 025-265-0850(代) Fax 025-265-0859
- 神奈川歯科大学営業所
〒238-0003 神奈川県横須賀市稲岡町82
神奈川歯科大学歯学部内
Tel 046-826-1441(代) Fax 046-826-1465

<http://www.tanakadental.co.jp>

NPO活動法人 神奈川歯科大学南東アジア支援団 KDU-SAS ミャンマーの活動の概要



NPO 代表理事 平田宗善 (16 回生)

初めにこの団体は平成16年12月26日に発生したインド洋大津波の被害国 タイ王国の救援を目的に平成17年に設立された。以降3年間で6000名以上の歯科疾患患者の治療・指導を実施した。同国国立マヒドン大学歯学部、サミティベート病院、プラティープ財団、在タイ日本大使館、日本人会など約200名のボランティアで行い、現地および日本でも報道された。

その後、ラオス歯科診療・バンコク歯科検診・プーケット歯科健診・フィリピン口唇口蓋裂手術支援などを継続して令和2年までボランティア歯科活動を行った。

ミャンマーでの活動は、平成26年から大学法人鹿島理事長の支援で、カンボジア、ベトナム、ミャンマーの視察を開始してその結果、民主化に移行していたミャンマーでの活動を決定して開始した。

初期の頃は協力団体の関係構築に苦勞したが、国立ヤンゴン歯科大学・ミャンマー歯科医師会・外務省・在ヤンゴン日本大使館、現地歯科ボランティアグループなどとの協力を得て活動が始まった。その後数年の間は年1・2回の歯科治療を実施、またヤンゴン歯科大学での神奈川歯科大学の講演、令和元年には国立ヤンゴン歯科大学学長が横須賀に来校して櫻井学長との学術交流の締結も結んだ。

ミャンマーではまだまだ歯科医療の恩恵を享受できる国民が少なく、KDU-SASの活動を切望して様々な地域から要望があった。ある時ヤンゴンの隣のバゴー県で社会福祉活動に従事する方からザングウー村の事を聞き視察に出かけた。

この村はヤンゴンから陸路と水路で約6時間かかる所で、8つの地域からなり約12000名の住民がいるが歯科診療所が80キロ圏内になく、水道もなく電気は1日2時間しか使用できない場所だった。村の長らと話しこの場所で歯科医療活動を実施することを決断して、その交渉後バゴー県知事・地区歯科医師会会長らと面談し協力を依頼・受託して頂き、村に歯科診療所を設立してミャンマーの歯科医療関係者が中心となるSDGsに基づく形式の歯科医療を計画立案して活動を開始した。また、バゴー県の活動について、ヤンゴン歯科大学・ミャンマー歯科医師会・日本大使館など協力を受託した。その後政府のあるネーपीードに赴き保健省局長・医療施設管理官などの許可も得ることができた。

令和2年3月の開設を予定し準備は順調だったが、2月にミャンマーで初めてのコロナ患者が発生してその後国内の移動が禁止され、また翌年まで待ったが令和3年2月にクーデターで、民主化政府が軍に蹂躪され、政府・大学・医療関係者とも身動きができなくなり、診療所も軍に接収された。

悲しいことにその村を紹介してくれた活動家は軍に逮捕され3日後に遺体で返還されるという残念な事件もあった。

その後日本外務省から直接連絡があり、今後ミャンマーには入国禁止の通達を受け、現在に至る。事ここに至り何もできない自身に悔しさで一杯である。

今は唯、ミャンマーの人々の安寧を祈るばかりである。



ミャンマー歯科医師会長(左2番目)
ヤンゴン歯科大学学長(右)



バゴー県知事と面談



診療所予定地と建物

女性の副会長から見た・・・



神奈川歯科大学同窓会 副会長 鈴木佑子 (1回生)

同窓会広報委員会から原稿依頼がございました。
1回生副会長としての今日までを記してみようと思います。

入学は昭和39年4月20日。校内の桜並木は今よりも多く、満開で早咲きの花卉が少しの風に舞って美しかったです。同級生は127名内、女子が27名でした。

入学式には両親が揃ってついてきて恥ずかしかったのですが、2人には青春の思い出の地。その昔、父は横須賀勤務の海軍大尉、母は日本女子歯科医学専門学校を卒業し、新歯科医師として働き始めたころに父と出会い、婚約しました。その当時、神奈川歯科大学の敷地内にあった海軍の士官倶楽部に上官から婚約祝に招かれた楽しい思い出があり懐かしかったのでしょうか。

教室は古い木造2階建て、3人掛けの背凭れのない長椅子と長机で、時々尺取虫も出て机を共有していました。

校舎の周りとはというと、大滝町の信号の角はアイススケートリンクがあり、校門のすぐ先まで海が入り込んで猿島への渡船の船着き場がありました。

学生は新生127名のみ、頼りになる先輩はひとりもいません。心細いひよこのようにお互いに寄り合い、全員が兄弟姉妹の様で仲間意識が強く仲は良かったです。

教授をはじめ、先生方には実に細やかに、時には厳しくご指導をいただきました。涙が溢れる事もありましたが出来ない自分への悔し泣きです。卒業後、勤務してからこの経験が有難かったです。自信に繋がりました。

学長の檜垣麟三先生からは歯科概論の講義を受けていました。ある時、全学連と名乗る学生運動家達が金網1枚で米軍キャンプと接しているのを知って中に入りたがり、色々と話しかけてきて校内がざわついていたので先生が「君達に学ぶ以外の時間の無駄はありませんよ。人の生命にかかわる医者になるのですよ。他

の事に気を散らす時間は1分もありませんよ。心得てください。」ときっぱりとおっしゃり凛として授業を進めてくださり、皆、落ち着くことが出来ました。

前期の試験中の昭和39年10月10日から前回の東京オリンピックが開催されました。開会式には自衛隊のブルーインパルスが東京の大空に初めて五輪の輪を描くのをテレビの前で観て感動しました。

卒業は昭和45年3月25日。99名内、女子19名が卒業しました。歯科医師国家試験では前期の春の試験のほか、3名が後期の秋の試験で合格し卒業生全員が歯科医師になりました。

この年、大阪万国博覧会・EXPO70'が3月15日から開催されていました。1回生は節目、節目で国のイベントに重なります。

私は長田 保教授の紹介で旧国鉄の中央鉄道病院歯科口腔外科に病院長、総婦長病棟婦長、歯科医長の面接試験を受けて入局させていただきました。

医局は医長が日本大学、副局長が東京歯科大学、ほかに日本歯科大学、日本大学と6名の歯科医師の居る医局に入局させていただきました。各々が学閥毎にグループを作り、交流もあまりなく先輩のいない心細さを痛感しました。診断を決め病名と術式を医長に報告をしてから診療を始めますが、下顎智歯の抜歯で下顎孔の伝達麻酔に「そんな事、出来るの？君に」と言われ、驚きました。

大学で細かく指導をして下さった先生方に心から感謝した時でした。

病院からは通勤定期が支給されました。歯科医師は管理職とのことでグリーン定期でした。平塚から始発に乗り、新宿から終電にすべり込む毎日でした。病棟に入院患者さんをかかえるところになります。昼休みも医局では休まらないし、疲れて円形脱毛症や、全身に吹き出物を発症して症状がひどくなりました。日頃はこぼし話でもしようものなら「修行中の身ではそれが

当たり前でしょう。自分の未熟さを知ったら改良しなさい。」我が家にも鬼婆が居ました。さすがに見かねたのか自分の車で東名高速を利用して通勤することが出来、昼休みには車で15分でも休んだらと提案してもらえたことで症状は治まってきました。

鉄道記念日は国鉄の休日、家で診療の手伝いを申し出ると「未熟な人には大事な私の患者はさわらせない」と言い切った母でしたが、その言葉は有難かったです。

昭和48年5月に病院を退職し、半年静養させてもらい、母の経営する鈴木歯科で仕事をさせてもらいました。歯科医師会に入会し、公衆衛生、地域医療に、社会保険等各委員会を経験し、平塚地区と神奈川県歯科医師会の委員も楽しく学ばせていただきました。ある時、平塚地区の国民健康保険団体連合会や支払基金の審査委員に推薦されましたが人様の審査は無理と思いきや久田太郎学長に失礼のないようにお断りする方法をご相談申し上げると先生は「鈴木君、君、大変なのは理解できるが君にお役が来るまでに会議で合意の上、下りてくる役目ですよ。後輩のためにも引き受けて苦勞を背負ってくれないか。」とおっしゃり、言葉を出

せない程でしたが「後輩のため」のひと言に頼りになる役立つ先輩になれるかなー。と私は「先輩」にならなくてはと気づき、この考え方はそのまま今に至っております。

未熟な先輩も少しは役に立てているのか疑問のままです。

私は歯科医師として今まで男女の取り扱いは一切差がなく今日に続いています。

女性は男性に比べて子供を産み育てる大役があります。一定期間は自分を捨てる事になりますが子育ては大役です。その期間は幸せを十分に味わって下さい。

そしてまた歯科医師として活躍・貢献していただきたいと願っています。

学ぶ機会は同窓会学術委員会が提供しています。同窓会員は無料で受講できます。

皆様からご意見、ご要望などがございましたらお気軽に同窓会事務局までご連絡ください。お待ちしております。

同窓会監事就任のご挨拶



新監事 奥村敏之

昨年末にご逝去されました故岩本 憲先生の任を引き継ぎ監事職務を致します。前期まで予算決算特別委員会の末席にて同窓会の資産・財産等に触れていたとはいえ、長きに亘る岩本 憲先生の功績を担う程のものはありませんが、委員会で交わさせて頂いたお言葉を反芻しながらこの職務にあたります。短期間ですが研鑽して行きますので宜しくお願い致します。



新監事 七沢久子

同窓会の皆様におかれましては、ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび監事に仰せつかりました9回生の七沢久子です。どうぞ、宜しく願い申し上げます。

浅学非才の身ではございますが、母校の同窓会に貢献できるようお支え出来ればと感じております。健全な経営、充実した会務の運営など鑑みながら、少しでもお役に立てれば幸いです。

皆様のご理解を賜りながら、母校、神奈川歯科大学の益々のご発展を祈念申し上げます。

第97回代議員会報告

令和4年度第1回予算決算特別委員会(在宅審議 令和4年5月24日～7月4日)

令和3年度決算を審議する令和4年度第1回予算決算特別委員会の開催について、新型コロナウイルス感染症の感染者数は減少傾向も見られるが、第7波への懸念がぬぐえない状況が続くため、議長団、予算決算特別委員会委員長、副委員長で協議し、昨年同様「会議室には参集せず、事前に資料をお送りし、質問⇔回答をメール、FAXにて繰り返し、在宅にて採決を執る方法にて開催する」といたしました。

第97回代議員会パンフ(令和3年度決算)の代議員会上程について(令和4年5月24日～7月4日)

令和4年度第1回予算決算特別委員会での在宅審議(令和4年5月24日～7月4日)の結果、第97回代議員会パンフ(令和3年度決算)の代議員会上程を委員全員の承認で決定いたしました。

第97回代議員会パンフ(令和3年度決算)質問受付(令和4年7月14日～7月29日)

令和4年度第1回予算決算特別委員会報告(案)とともに第97回代議員会パンフ(令和3年度決算)を代議員・予備代議員各位に送付し、質問を受け付けました。

質問に対し、執行部からの回答を用意し、質問者の承認後、令和4年度第1回予算決算特別委員会報告に「代議員からの質問と回答」という項目で加筆しました。

在宅審議(令和4年8月17日～8月26日)

「代議員からの質問と回答」を加えた令和4年度第1回予算決算特別委員会報告を予算決算特別委員会委員にて在宅で審議、承認し第97回代議員会パンフ(令和3年度決算)を仮承認といたしました。

尚、正式な承認は第97回代議員会の議場にて改めて執り行います。

令和4年度第2回予算決算特別委員会(在宅審議 令和4年11月24日～12月26日)

令和4年度第2回予算決算特別委員会は、新型コロナウイルス感染症の第8波と季節性インフルエンザの同時流行の懸念もあり、公共交通機関を利用しての長距離の移動、会議室に参集しての開催に未だ不安も拭えないことから、第1回委員会と同様、会議室への参集はせず、令和4年11月24日より12月26日まで、在宅にて協議並びに審議を行い、以下の結論を見ました。

令和4年度第2回予算決算特別委員会での審議の結果

1. 第97回代議員会パンフ(令和5年度予算案等)の代議員会上程を承認
2. 第97回代議員会の開催方法について

第97回代議員会は会場への参集はせず、審議は議決権行使書を以って在宅で行う

3. 会長・監事選挙に関する件について

選挙を来年度の代議員会に持ち越し、役員任期を再度1年延長する

上記のことが決定いたしました。

【代議員会在宅議事】

第32回表彰者について(代議員会在宅議事令和4年度第1号) 令和4年12月17日～12月22日)

表彰規則第4条に基づき、令和4年12月14日より12月22日までの期間で、代議員各位に在宅議事として審議を諮り、以下の通りの承認をいただきました。推薦者4名とも1/2以上の賛成をいただきましたので、第32回表彰者につきましては、承認といたします。

有功章(4名)	承認する	異議あり	未回答
二木 肇(東京都支部)5回生	66名/78名中	0名/78名中	12名/78名中
安村 治国(東京都支部)5回生	66名/78名中	0名/78名中	12名/78名中
甲斐 順子(大分県支部)4回生	66名/78名中	0名/78名中	12名/78名中
鈴木 吉久(三重県支部)5回生	65名/78名中	1名/78名中	12名/78名中

第97回代議員会開催方法、在宅開催の際の役員任期再度1年延長について

(代議員会在宅議事令和4年度第2号 令和3年12月27日～令和4年1月6日)

標記の件について、予算決算特別委員会からは「第97回代議員会は会場への参集はせず、審議は議決権行使書を以って在宅で行う」との結論が示されました。この結果を受け、第97回代議員会開催方法について代議員会在宅議事令和4年度第2号にて令和4年12月27日より令和5年1月6日の期間で代議員各位に諮った結果、『①予算決算特別委員会の結論通り、審議は在宅で行う』を選択された代議員が78名中54名と一番多く、第97回代議員会は在宅審議での開催といたしました。

また、在宅開催となった際の役員任期の再度1年延長につきましても、78名中56名の先生よりご承認をいただきました。

第97回代議員会開催方法について

①在宅での開催	②会議室に参集での開催	③その他	未回答
54名／78名中	10名／78名中	0名／78名中	14名／78名中

第97回代議員会が在宅開催となった際の役員任期1年延長について

承認する	承認しない	その他	未回答
56名／78名中	6名／78名中	0名／78名中	16名／78名中

監事欠員による監事職補填について(代議員会在宅議事令和4年度第3号 令和5年1月18日～1月24日)

監事欠員による監事職補填についての提案事項について、78名中61名の代議員より承認をいただきました。この結果を受け、提案事項に基づき、監事職の補填を関係支部、地区連合会と協議の上、選出を行い選出されました際には、改めて報告することといたしました。

(提案事項) 監事欠員による監事職補填について

- 1) 人選については、欠員監事の連合会支部から選出する
- 2) 大島監事の欠員は、埼玉県支部または関東地区連合会から
- 3) 岩本監事の欠員は、長崎県支部または九州地区連合会から
- 4) 任期は、現大館会長の任期と同じとする

承認する	承認しない	その他	未回答
61名／78名中	1名／78名中	1名／78名中	15名／78名中

※後日、関東地区連合会、九州地区連合会より新監事の先生をご推薦いただきました。

新監事(任期：令和5年4月1日から令和6年3月31日)

- 8回生 熊本県支部 奥村 敏之
9回生 山梨県支部 七沢 久子

第97回代議員会報告・議事資料についての質問受付(令和5年1月25日～2月8日)

在宅で第97回代議員会議事を進めるにあたり、代議員各位より質問を受付しましたところ1名の先生より質問を受けました。

第97回代議員会 報告・議事資料についてのご質問への回答、再質問受付(令和5年2月13日～2月17日)

1名の先生からの質問への回答を代議員各位に送付し、回答をご覧になっての再質問を2月17日までの期間で受付ました。

第97回代議員会 議事第1号議案から第23号議案についての採決

(代議員会在宅議事令和4年度第4号 令和5年2月21日～2月28日)

標記の件について、令和5年2月17日までの期間で質問への回答を受けての再質問を受け付けいたしましたところ、再質問がなかったため、令和5年2月21日から2月28日の期間にて代議員会在宅議事令和4年度第4号にて採決を行いました。2月28日の締め切りまでに78名中72名の代議員の先生より回答をいただき、71名の先生よりすべての議案にご承認をいただきました。

この結果により、神奈川歯科大学同窓会会則第4章第2節第25条(議決)代議員会成立実数の1/2以上の賛成を得られましたので、第97回代議員会議事第1号議案から第23号議案につきましては、代議員会の決議があったとさせていただきます。

承認	否決	未回答
71名／78名中	1名／78名中	6名／78名中

令和3年度決算

- 第1号議案 令和3年度一般会計－1歳入・歳出決算
- 第2号議案 令和3年度一般会計－2（事業運営安定化資金）歳入・歳出決算
- 第3号議案 令和3年度事業基金会計－1歳入・歳出決算
- 第4号議案 令和3年度事業基金会計－2（創立50周年記念事業）歳入・歳出決算
- 第5号議案 令和3年度福祉共済部会計－1歳入・歳出決算
- 第6号議案 令和3年度福祉共済部会計－2（同窓会年金）歳入・歳出決算
- 第7号議案 令和3年度奨学金基金会計歳入・歳出決算
- 第8号議案 令和3年度前受金会計歳入・歳出決算
- 第9号議案 令和3年度神奈川歯科大学同窓会災害支援基金会計歳入・歳出決算
- 第10号議案 資産目録に関する件

令和5年度事業計画・予算(案)

- 第11号議案 令和5年度事業計画（案）
- 第12号議案 会則・規則改正特別委員会の委員の任命について
- 第13号議案 令和5年度一般会計－1歳入・歳出予算（案）
- 第14号議案 令和5年度一般会計－2（事業運営安定化資金）歳入・歳出予算（案）
- 第15号議案 令和5年度事業基金会計－1歳入・歳出予算（案）
- 第16号議案 令和5年度福祉共済部会計－1歳入・歳出予算（案）
- 第17号議案 令和5年度福祉共済部会計－2（同窓会年金）歳入・歳出予算（案）
- 第18号議案 令和5年度奨学金基金会計歳入・歳出予算（案）
- 第19号議案 令和5年度前受金会計歳入・歳出予算（案）
- 第20号議案 令和5年度神奈川歯科大学同窓会災害支援基金会計歳入・歳出予算（案）
- 第21号議案 特別会員の承認に関する件
- 第22号議案 退会者承認に関する件
- 第23号議案 会長・監事選挙に関する件

以上をもちまして、第97回代議員会報告とさせていただきます。

令和5年2月28日

神奈川歯科大学同窓会

代議員会 議長 飯塚 務

同 副議長 外池 利夫

会 長 大館 満

デンティストサークル会員特典

- タイムリーに情報をお届けし、特典のバックナンバーも活用できる
- 無料または会員優待価格で受講できるセミナー
- 新製品や情報誌でご紹介した製品を特別優待価格でお買い求めいただけます
- 臨床に役立つ製品やグッズをお届け
- 臨床術式や技術テクニックをわかりやすく解説した「Dental echo」
- 新製品や使い方のコツ、会員さまインタビューなど満載の情報誌「ha-ha-ha」
- 注目分野を取り上げ、オールカラーで展開する書籍「COLOR ATLAS」



松風歯科クラブ
Dentist Circle
デンティストサークル

2023年度 会員募集

会期 2023.4/1～2024.3/31
年会費 8,000円(税別) 提供商品代 8,500円分含む



ここから
今すぐCheck!



世界の歯科医療に貢献する **株式会社 松風**

令和3年度 一般会計歳入・歳出決算収支計算書

自：令和3年4月1日
至：令和4年3月31日
(単位：円)

『歳入の部』	令和3年度予算額		令和3年度決算額	
1. 会費	2,909 口	40,435,000	2,651 口	36,625,000
2. 入会金	48 口	1,440,000	46 口	1,380,000
3. 負担金収入(甲種)	109 口	436,000	83 口	332,000
4. 学術収入		300,000		468,000
5. 繰入金		300,000		300,000
6. 寄付金		1,000		0
7. 雑収入		475,000		494,514
8. 繰越金		11,000,000		12,955,422
1. 一般会計-1		11,000,000		12,955,422
歳入合計		54,387,000		52,554,936

『歳出の部』	令和3年度予算額		令和3年度決算額	
1. 事業運営費 内、予備費		38,605,000		21,436,440
		257,000		
2. 事業運営安定化資金		3,500,000		3,500,000
3. 事業基金会計		5,396,000		4,840,000
	甲種(2,698口)		甲種(2,420口)	
4. 福祉共済部会計		6,036,000		5,468,000
	甲種(2,698口)		甲種(2,420口)	
	乙種(320口)		乙種(314口)	
5. 奨学金基金会計		850,000		850,000
歳出合計		54,387,000		36,094,440
次年度繰越金(収支差額)				16,460,496

監査報告書

私達は、会則第12条の定めに従い、神奈川歯科大学同窓会の令和3年4月1日から令和4年3月31日までの令和3年度会計並びに会務執行の監査を行った。
令和3年度会計に於ける歳入・歳出に関する決算書について、精密なる監査を実施せるところ、証拠書類その他についていささかも不備が認められなかったことを証明する。

また、会務の執行については、会則に準拠し適切妥当に執行されたものであることを認める。

令和4年5月21日

監 事 岩 本 憲

監 事 細 谷 孝 明

神奈川歯科大学同窓会
会長 大 舘 満 殿

令和5年度 一般会計歳入・歳出予算

自：令和5年4月1日
至：令和6年3月31日
(単位：円)

『歳入の部』	令和4年度予算額	令和5年度予算額
1. 会費	38,720,000	36,635,000
2. 入会金	1,710,000	1,710,000
3. 負担金収入	676,000	1,080,000
4. 学術収入	1,200,000	600,000
5. 繰入金 同窓会年金会計より	300,000	300,000
6. 寄付金	1,000	1,000
7. 雑収入	475,000	610,000
8. 繰越金	20,000,000	18,000,000
9. 一般会計-2(事業運営安定化資金)より受入金	5,840,000	0
歳入合計	68,922,000	58,936,000

『歳出の部』	令和4年度予算額	令和5年度予算額
1. 事業運営費	50,866,000	46,866,000
内、予備費	(979,000)	(1,099,000)
2. 事業運営安定化資金拠出金	6,840,000	1,000,000
3. 事業基金会計拠出金	5,286,000	5,204,000
4. 福祉共済部会計拠出金	5,930,000	5,866,000
5. 奨学金基金会計拠出金	0	0
歳出合計	68,922,000	58,936,000

歳出の部 事業運営費内訳明細

自：令和5年4月1日
至：令和6年3月31日
(単位：円)

款	科 目		令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	比較増減 (△は減)	増減率% (△は減)	構成率 %
	項	目					
1.	事務費		10,543,000	12,302,000	1,759,000	16.68%	26.25%
	1.	職員給与費	6,661,000	7,401,000	740,000	11.11%	
	2.	諸手当費	819,000	1,068,000	249,000	30.40%	
	3.	特別手当費	1,430,000	1,984,000	554,000	38.74%	
	4.	税理士報酬費	467,000	467,000	0	0.00%	
	5.	福利厚生費	535,000	751,000	216,000	40.37%	
	6.	雑費	631,000	631,000	0	0.00%	
2.	需要費		11,903,000	6,192,000	△5,711,000	△47.98%	13.21%
	1.	備品費	6,246,000	535,000	△5,711,000	△91.43%	
	2.	消耗品費	500,000	500,000	0	0.00%	
	3.	印刷費	1,366,000	1,366,000	0	0.00%	
	4.	通信費	2,150,000	2,150,000	0	0.00%	
	5.	交運費	1,641,000	1,641,000	0	0.00%	
3.	事業費		16,633,000	16,267,000	△366,000	△2.20%	34.71%
	1.	学術費	11,045,000	9,695,000	△1,350,000	△12.22%	
	2.	組織費	2,350,000	2,350,000	0	0.00%	
	3.	広報費	1,600,000	1,600,000	0	0.00%	
	4.	福祉厚生費	1,160,000	1,760,000	600,000	51.72%	
	5.	情報処理費	478,000	862,000	384,000	80.33%	
4.	会議費		7,736,000	7,936,000	200,000	2.59%	16.93%
	1.	総会費	10,000	10,000	0	0.00%	
	2.	代議員会費	3,430,000	3,430,000	0	0.00%	
	3.	支部長会費	20,000	20,000	0	0.00%	
	4.	常務連絡会費	430,000	430,000	0	0.00%	
	5.	理事会費	2,728,000	2,728,000	0	0.00%	
	6.	監事会費	212,000	212,000	0	0.00%	
	7.	各種委員会費	906,000	1,106,000	200,000	22.08%	
5.	渉外費		2,160,000	2,160,000	0	0.00%	4.61%
6.	社会貢献費		200,000	200,000	0	0.00%	0.43%
7.	還付金		710,000	710,000	0	0.00%	1.51%
8.	予備費		979,000	1,099,000	120,000	12.26%	2.34%
	事業運営費歳出合計		50,864,000	46,866,000	△3,998,000	△7.86%	100.00%

令和5年1月から6月までの会務報告

月	日	曜	行 事	出席者・講師
令和5年 1月	18	水	令和4年度第1回奨学者審議部会（在宅審議）	
			第10回学術委員会（Web会議）	
	20	金	情報処理部第8回 Zoom 練習会	
	21	土	第4回常務連絡会（Web会議）	
	28	土	東京都支部新年懇談会	大館会長
	29	日	一般社団法人化記念 新年賀詞交歓会（東京医科歯科歯科同窓会）	浅井副会長、植村常務理事
2月	4	土	神奈川県支部新年会	大館会長
	11	土	令和4年度第2回九州地区連合会支部長・代議員会議	平良副会長
	12	日	学校法人 神奈川歯科大学 歯科・健脳クリニック日本橋開院記念祝賀会	大館会長 浅井・鈴木・小野・桂・金山副会長 高橋・植村・平田・川端常務理事 金子・別部・前畑・徳島理事、細谷監事
	17	金	第11回学術委員会（Web会議）	
	18	土	第170回学会例会（学外例会）	大館会長・秋本専務・山中常務 別部・前畑理事
	24	金	情報処理部第9回 Zoom 練習会	
	25	土	第5回理事会（Web会議） 第97回代議員会（在宅審議）	
3月	4	土	青森県支部総会・学術講演会	講師：二瓶 智太郎先生（22回生）
	10	金	第12回学術委員会（Web会議）	
	17	金	情報処理部第10回 Zoom 練習会	
	18	土	第5回常務連絡会（Web会議）	
	19	日	神奈川歯科大学同窓会学術講演会 -Back to the basic- 「修復治療の現在と明るい未来」	浅井副会長 講師：山崎 長郎先生・内山 哲哉先生
	31	金	情報処理部第11回 Zoom 練習会	
4月	1	土	令和5年度第1回常務連絡会（Web会議）	
	14	金	令和5年度第1回学術委員会（Web会議）	
			令和5年度第1回情報処理部会（Web会議）	
15	土	岩本 憲先生を偲ぶ会	植村・木本常務、金子理事 細谷・奥村監事	
5月	3	水	24回生クラス会	
			25回生クラス会	
	12	金	第2回情報処理部会（Web会議）	
	19	金	令和5年度第1回情報処理部 Zoom 練習会	
	20	土	令和5年度第1回監事会	
			令和5年度第1回理事会（ハイブリッド開催）	
22	月	第2回学術委員会（Web会議）		
28	日	神奈川歯科大学同窓会学術講演会 -Back to the basic- 「エンドの鉄則～成功に導く必須の知識～」	鈴木副会長 講師：木ノ本 喜史先生	
		千葉県支部総会・学術講演会	山田常務、講師：猿田 樹里先生（33回生）	
6月	3	土	令和5年度第1回広報委員会（Web会議）	
	16	金	第2回情報処理部 Zoom 練習会	
	17	土	第2回常務連絡会（Web会議）	
	18	日	私立歯科大学歯学部同窓・校友会連絡協議会（12校会議）	大館会長・別部理事
	24	土	福島県支部総会・学術講演会	講師：井野 智先生（20回生）
			第2回広報委員会	
			第13回神奈川県人会	大館会長
26	月	第3回学術委員会（Web会議）		

令和4年度 第1回表彰選考委員会報告（在宅審議）

神奈川県歯科大学同窓会
表彰選考委員会
委員長 飯塚 務

日時：令和4年11月24日～12月7日の期間にて在宅審議

1. 報告

第31回表彰推薦者（令和3年度）

有功章 9回生 中西 通（徳島県支部）
有功章 10回生 嶋本 道晴（高知県支部）
有功章 5回生 瀧 陽一郎（岡山県支部）
有功章 12回生 今兼 則夫（岡山県支部）
有功章 13回生 木本 一成（大学支部）

2. 審議

第32回表彰推薦者（届出日付順）

有功章 5回生 二木 肇（東京都支部）
有功章 5回生 安村 治国（東京都支部）
有功章 4回生 甲斐 順子（大分県支部）
有功章 5回生 鈴木 吉久（三重県支部）

- ・表彰選考委員に推薦書、経歴書を送付し在宅にて審議（令和4年11月24日～12月7日）
- ・表彰選考委員会 委員全員の承認を確認した
- ・表彰選考委員会の審議を報告書を以って報告し、理事会・代議員会の在宅審議を経て令和4年度 第97回代議員会にて表彰とする
- ・第97回代議員会が在宅での審議となった場合は、昨年度同様、代議員会日付の記念品を表彰者にお送りすることを以って表彰とする

3. その他

特になし

（在宅議事令和4年度第1号）第32回表彰者につきまして

（令和4年12月14日～12月22日）

表彰規則第4条に基づき、令和4年12月14日より12月22日までの期間で、代議員各位に在宅議事として審議を諮り、以下の通りの承認をいただきました。

推薦者4名とも1/2以上の賛成をいただきましたので、第32回表彰者につきましては、承認といたします。

有功章（4名）	承認する	異議あり	未回答
二木 肇（東京都支部）5回生	66名／78名中	0名／78名中	12名／78名中
安村 治国（東京都支部）5回生	66名／78名中	0名／78名中	12名／78名中
甲斐 順子（大分県支部）4回生	66名／78名中	0名／78名中	12名／78名中
鈴木 吉久（三重県支部）5回生	65名／78名中	1名／78名中	12名／78名中

令和4年度 第1回奨学者審議部会報告（在宅審議）

奨学者審議部会は、例年1月中旬に部会を開催し、審議を行っておりましたが、令和5年1月現在、新型コロナウイルス感染症は収束の兆しが見えず、季節性インフルエンザとの同時流行が懸念されるため、令和4年度第1回奨学者審議部会の開催については、在宅審議の方法で開催いたしました。

審議期間、回答方法は以下の通りです。

審議期間：令和5年1月18日から1月31日の期間

回答方法：資料を送付し在宅審議回答書にて返信

1. 報告

・令和2年度第1回奨学者審議部会報告

2. 議事

奨学金申込 2件（会費納入状況はいずれも完納）

歯学研究奨学金（甲種）

（1）川村 和章（24回生・大学支部・甲種会員）会員期間1993年入会

神奈川歯科大学歯学部社会歯科学系 健康科学講座 口腔保健学分野 講師

研究課題：フッ化物含有象牙質知覚過敏治療材塗布による

根面齲蝕の予防効果の検討

海外留学者奨学金（乙種）

（1）國松 雄一（44回生・大学支部・甲種会員）会員期間2018年入会

神奈川歯科大学歯学部臨床科学系 歯科保存学講座 保存修復学分野 助教

研究課題：顕微ラマン分光法を用いた初期齲蝕病変の評価

在宅審議結果

令和5年1月18日より1月31日までの期間、在宅にて審議を行い、在宅審議回答書を以って採決とした。

結果、部員8名全員より承認の回答があり、令和4年度の奨学金申請2件は承認された。

以上

歯科医師・従業員のみならず。あなたにも“プラス”を。



歯科医師国民年金基金



60歳以上65歳未満の方や海外居住されている方で、国民年金に任意加入されている方も国民年金基金に加入できます。※非居住者が支払った掛金は、所得控除対象外です。

資料請求・ご相談・お問い合わせは
お気軽に今すぐこちらへ！



0120-155-950

〒102-0076

東京都千代田区五番町12-11

泉館五番町ビル2F

<https://www.npfunddent.or.jp>



第8回ジャカランダ・フェスティバル 市民大感謝祭

会計担当常務理事 山田良広 (18回生)

神奈川県立大学校内に咲く大学のシンボルツリー「ジャカランダ」、アフリカ原産の高木で世界三大花木に数えられ、ブラジルの国樹でもあり、熱帯地方に分布。国内では比較的温暖な地域で栽培例があるが、本学は気候や日当たり恵まれるなどの条件がそろい、2本の木が毎年花をつけています。

釣鐘状の花が鈴なりに咲く様子が桐の花に似ていることから「桐もどき」の和名もあり、花色はオランダの画家、フェルメールの「真珠の耳飾りの少女」に描かれている青いターバンの色に似ていることから「フェルメールブルー」とも称されています。

ジャカランダを愛でる「第8回ジャカランダ・フェスティバル 市民大感謝祭」が令和5年6月11日(日)小雨の中、午前10時から同大学キャンパスで開催されました。

午前中は10時30分から料理研究家の長谷川りえさんを講師に迎え、地元三浦野菜を取り上げての講演「食」で整う美活習慣が2号館11番教室で開催され満席止め。11時30分から5号館学生食堂前では、ちゃんこ鍋グランプリで日本一に輝いた千葉県市川市行徳のちゃんこ鍋「ちゃんこ鷹丸」を本学の特任教授である平成の大横綱「貴乃花」が振る舞い、ピーク時には大学構内を1周するほどの大盛況で限定を超える実食1,300の大盛況でした。

午後は13時15分から大講堂において、テレビ朝日「日本のチカラ」のエンディング曲「HOME」や同局フィギュアスケートアンセム楽曲「Winter Tale」で知られる相知 明日香さんによるヴァイオリンの演奏、その後元宝塚歌劇団月組の男役 星条海斗、同娘役 芽夢ちさとさんによるコンサートが華やかに開催された。

さらに、市内を拠点とするチアダンスやフラダンスのキッズチームが踊りを披露するほか、多くのキッチンカーや模擬店が並び地元住民らとの交流を深めました。

広報企画推進室の勝野賢一室長からのスタッフ向けのメッセージでは、『100%雨予報の中何とか持ちこたえ、弱い雨には何度か見舞われましたが、ご来場者数約3,000名を迎え入れました。最後まで無事に開催出来た事に本学の運の強さを感じております。梅雨時期のイベントにも関わらず、これで驚異の8勝0敗です。「大学のファンを創る」という当初の目標は高い確率で達成できたと感じております。

次年度は新本部棟が完成し、新しい景色での開催に

なります。真新しい建物を有効に活用し、イベントも一新し、新たなフェスのカタチを創り上げるという、大きな目標ができました。今回に懲りず、また、来年度、皆様と一緒にフェスを開催できれば幸いです』とありました。

今年も大成功のジャカランダ・フェスティバル、これまでも地元の同窓生には多数参加していただいておりますが、他県の同窓生にもぜひ参加していただきたいと改めて思いました。来年はフェスと新本部棟の見学もかねて、支部旅行の一環で母校をご訪問されてはいかがでしょうか。



貴乃花親方がちゃんこを振舞いました (Twitter より)



コンサート盛り上がりしました
左から芽夢ちさとさん、相知明日香さん、星条海斗さん (Facebook より)



講演会礼止めでした
中央が長谷川りえ先生、三浦野菜とスタッフと (Twitter より)

「歯周病・インプラント治療の ティッシュマネージメントの実際」／児玉利朗 先生

山野悟志 (42回生)・若林孝明 (42回生)

令和4年11月6日(日) 神奈川歯科大学附属横浜
研修センターに歯科インプラント学講座 高度先進イ
ンプラント歯周病学分野 教授 児玉利朗先生をお招き
して、「歯周病・インプラント治療のティッシュマネー
ジメントの実際」というタイトルでコロナ禍ですが、
若手の先生メインで活気のある学術講演・実習が開催
された。

児玉先生のご配慮により受講生には事前に動画を配
信し、受講していただいたため実習時間を大幅に取る
ことができた。

また、デンツプライのご協力により実習材料・器材
の貸し出し・設置を行ってもらい、スムーズに行われ

たことを心より感謝している。

実習内容は、ブタの下顎骨を使用し、切開線の入れ
方・縫合の仕方・歯肉移植のやり方・基礎的なインプ
ラント埋入方法など多岐にわたり実習内容が充実して
いたため、休み時間を返上し、実習を行っていた受講
生も見受けられた。

実習時間・質疑応答では積極的に質問していたため
若手先生には実のある刺激的な実習になったと感じた。

これからの歯科治療を担う先生方にこのような学術
講演ができたことが大変喜ばしく感じ、来年度以降も
ハンズオンセミナーを開催できるように学術委員とし
て尽力していきたいと考えている。



「修復治療の現在と明るい未来」

中尾 伸 (49 回生)

去る令和5年3月19日(日)表題の神奈川歯科大学同窓会学術講演会(講師:山崎長郎先生、内山徹哉先生)が開催された。当日は東海東京ウェルスクンサルティング オルクドール・サロン東京での対面形式と感染予防の観点から、Zoomを用いたWeb配信によるハイブリッド形式で行われ、対面37名・Web62名が出席した。本講演は日本臨床歯科学会 理事長・原宿デンタルオフィス 院長 山崎長郎先生とマイクロデンタル 院長 内山徹哉先生に、審美修復・補綴治療の根幹である「支台歯形成」「咬合」という2つの大きなテーマについて、過去から現在に至るまでの変遷や今後の展望をご講演いただいた。またデジタルや睡眠時無呼吸症候群へのアプローチなど将来、歯科界に期待される「明るい未来」についてもお話いただいた。

【午前】：支台歯形成について

まず午前の講演では山崎長郎先生より、1970年代から2020年まで時代の変遷と共に、それぞれ治療の内容が変化し充実してきた事を、山崎先生ご自身の診療形態と照らし合わせてご説明いただいた。どれだけ材料や術式が変化しても歯科補綴の根幹である「支台歯形成」と「咬合」は key item であり、特に昨今のようにデジタル化が進む中であっても支台歯形成のマージンやクオリティーは補綴治療の成否を分けるものであると述べられ、その中で形成用ピエゾの有効性についてデータを含めてご説明いただいた。次に内山徹哉先生よりご自身のキャリアにおける支台歯形成の変化をご説明いただいた。2004年卒業当初の支台歯形成はメタルセラミックに準ずるショルダーを付与されており、歯牙への侵襲は避けられない状況であったが、2010年代前半のモノリシックセラミックの登場により、大きく支台歯の形態が変化したと述べられた。失活歯における多角的項目を満たす支台築造(Comprehensive abutment procedure)を行うことで歯牙への侵襲を抑えながら、審美的でより機能的なクラウンを製作することが可能になったとのことであった。

内山先生の過去と現在の支台歯形成を比較するとその形成量の違いは明白であり、生活歯における偶発的抜髄回避はもちろんのこと、失活歯においても、根管

口から支台歯表面までの距離が長くなるため、根管治療時の隔壁脱離が少なくなるというメリットが得られると述べられていた。しかし支台歯が大きくなるということは、補綴物が薄くなるため審美的かつ機能的要件を満たす修復治療を成功させるためには、Provisional Restorationのコントロールの難易度が上がる。そこで、内山先生は最終補綴形態を予想した外形で、デジタル技術を用いて0.4mmの均一な厚みでPMMAディスクを削り出したProvisional Restorationを製作し、支台歯形成後に試適することで、ご自身の行なった形成に過不足がないかを確認されているとご解説いただいた。

【午後】：咬合について

午後は山崎先生から「支台歯形成」に引き続き、もう一つの補綴治療を成功させるためのkeyは「咬合」であり、咬合における2つの問題: Anterior GuidanceとVertical Dimensionについて、その重要性をご説明いただいた。Anterior Guidanceでは特にディスクルージョンをもたらす犬歯の重要性を述べられ、Vertical Dimensionでは高径を挙上する場合の理論と実践をstep by stepで2症例を通じてご説明いただいた。合わせて現時点でのデジタルデンティストリーの限界とそのソリューションを述べられ、またインプラント治療においては欠損症例の分類とイメージイトローディングの症例(上顎のボーンアンカー)の治療順序と上部構造の製作方法についてご説明いただいた。

次に内山先生より顎顔面に調和する咬合についてご説明いただいた。包括的治療における咬合高径の決定指標はさまざまであるが、そのコンセンサスは未だに得られていない。そこで内山先生は、Maxillofacial analysis(患者の顎顔面・フェイシャルタイプを分析し、その骨格に合った咬合高径の設定を行う方法)を用いて、より低侵襲な咬合再構成を行っているとして述べられていた。セファロ分析から得られた情報を咬合器に反映させて治療を進められおり、講演の最後には実際にMaxillofacial analysisを用いて行われた、包括的治療の症例をご提示いただいた。

【まとめ】：歯科界の未来について

講演の最後に山崎先生より、歯科治療と医科との連携が必要となる「睡眠時無呼吸症候群」に対して、歯科領域が貢献可能な治療法についてご解説いただいた。この疾患は患者の認知度もまだまだ低い状況であるが、全身への合併症も含む大きな問題を抱えており、今後更に研究及び治療方法の進歩・進展が望まれると述べられた。次に内山先生より包括的歯科治療とMI治療は一見相反するものであるが、その両方を満たす治療ができれば、修復物のみならず、健康的な口腔内の維持につながるとお話いただいた。

【中尾より】

本講演は日本臨床歯科学会（SJCD）を長年率いてこられ、審美修復治療のトップランナーである山崎長郎先生と、次世代のホープである内山徹哉先生のコラボレーション講演であった。お二人の先生方を招いてのご講演は同窓会委員として新しい企画であった。その背景にはベテランの先生方のみならず、若手の先生方にもぜひ多く同窓会学術講演にご参加いただきたいという学術委員の想いがあり、本講演の開催に至った。「支台歯形成」「咬合」という審美修復・補綴治療を行う上で欠かすことができないテーマについて、山崎先生や内山先生のご講演を拝聴させていただき、また歯科界の今後の明るい未来についてもお話を伺い、非常に刺激を頂いた。本講演で学んだことを活かせるように、今後も研鑽を積んでいきたい。





令和4年度東海地区連合会「総会・学術講演会」

望月和哉 (24 回生・静岡県支部)

最初に、令和4年9月23日台風15号の被害にあわれた先生方に、お心のこもったお見舞いを賜り誠にありがとうございました。略儀ながら書中にてお礼申し上げます。

令和4年11月13日(日) ホテルアソシア静岡において令和4年度東海地区連合会総会・学術講演会が開催され、静岡・愛知・三重の各県支部から約30名の同窓会員が参加しました。

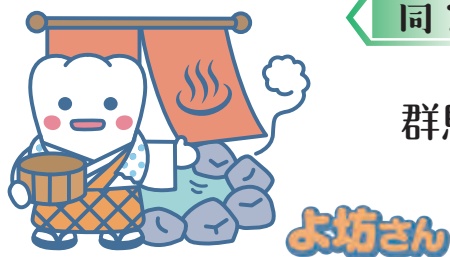
大館 満同窓会会長のご挨拶後、各支部長から現状報告と協議事項についての説明がありました。

学術講演は講師に歯科インプラント学講座 顎・口腔インプラント学分野 分野長・教授 河奈裕正先生をお招きし、『抜歯やインプラント外科における手術併発症の予防と対応』と題して、代表的な併発症である「出血」「神経損傷」「感染」を軸に、併発症予防への布石と起こしてしまった場合の迅速な分析と対応につ



いて、実例を挙げながら現場に即した内容でご講演をいただきました。河奈裕正先生からは「安全な手術とは、すなわち併発症を起こさない手術に他ならない。その安全を担保するには、解剖や病理の理解画像を含めた術前診断と分析、適応症の判断を確実にしておくことが重要。」など、目から鱗のお言葉ばかりでとても有意義な時間を過ごせました。





群馬県支部近況報告

小山 敦 (20回生・群馬県支部副会長)



神奈川県歯科大学同窓会群馬支部の近況をご報告致します。

令和5年も、支部長・代議員大原吉博(14回生)、副支部長小山 敦(20回生)、会計 飯野亮介(27回生)、学術 亀山 正(25回生)、監事 松本 徹(6回生)・丸茂忠英(7回生)、相談役 石田覚也(8回生)、会員28名で運営されています。

長引くコロナ禍において、令和4年度は新年会中止、群馬県全歯科大学同窓会・校友会役員懇話会中止、関東地区連合会中止でありましたが、感染者数が減少した10月に学術講演会を計画。

歯科インプラント学講座 顎・口腔インプラント学分野 分野長・教授 河奈裕正先生(群馬県渋川市出身)をお招きし開催することが出来ました。群馬県支部同窓会役員、会員12名が参加しました。

監事 丸茂忠英(7回生)が、長年にわたり警察医として活動され、また保護司としての社会活動等が認められ、群馬県功労者表彰警察分野にて表彰されました。



監事 松本 徹(6回生)が長年の学校歯科医としての功績が認められ、群馬県総合表彰を受賞されました。

群馬県支部の理事会は、Zoomを利用し、4回開催。Zoom会議では、場所設定もいらず、移動時間もなく、役員の参加をまとめ易いメリットがありました。

厚生労働省は、令和5年5月8日に、新型コロナウイルスの「5類移行」正式決定。

今後の社会状況を見極めながら、群馬県支部同窓会を運営し、盛り上げていきたい所存です。





三笠会新年会 ー楽しんでますー

兵頭享治 (7回生・愛媛県支部)

神歯同窓会は大学近くの横須賀港に設置されている戦艦三笠にちなみ三笠会と名前をつけております。現支部長武西勝利先生を中心として楽しく活動しております。今年の新年会は参議院議員山田 宏先生をお迎えし歯科界の事だけではなく、世界情勢や平和について広い知見で1時間ほどご講演をしていただきました。歯科に関しては厚生労働省に対して細かな点数アップよりもとにかく過去にはいろんな経緯がありました。一般医科と同等の再診料にしてほしいと強く要望しておきました。もしこのことが実現できれば莫大な費用効果を歯科界にもたらすことと思われま

す。一度大学に入学してしまえば同窓会に入会する必要もないと思われている先生方を多くお見かけします

れども、同窓会長大館 満先生も奮闘されておりますので、より一層魅力ある同窓会を作って頂ければ未加入問題も解決できると思われま

す。理事長鹿島 勇先生ならではの新しい発想法に基づき世界を見据えた大学運営を展開されておられ魅力ある神奈川歯科大学に変貌しつつ現在に至っていると思います。進化する神奈川歯科大学バンザイ！！です。

私の住んでいる松山市は日本最古と言われている道後温泉や瀬戸内の魚介類、美味しいお酒、美女など全て揃っている「天国」のようなところですので是非ともお越しください。

上記の文章は、稚拙な文章でAI・Chat GPTを使った文章でないことは御推察の通りです。(笑)



参議院議員 山田 宏先生

《 クラス会助成について・令和5年度 》

- 10周年単位のクラス会、卒業5周年のクラス会に助成金を支給します。
- 令和5年度は5回生、15回生、25回生、35回生、45回生と卒業5周年に該当する50回生が対象となります。
(いずれも前後1年の会期も可)
- 助成金額は、該当するクラス会1件 10万円で用途は自由です。
- 助成クラス会の該当要件があります。詳しくは事務局までお問い合わせください。
- 同窓会に提出する書類とは別に、同窓会会報に掲載する原稿を別途ご提出ください。(集合写真1枚等添付)

「24回生・25回生 合同クラス会」

佐貫田 尚亮 (24回生・クラス委員)

24回生25回生合同クラス会が令和5年5月3日(祝)12～15時、東京の丸ビル36階のブリーズ・オブ・トウキョウにて開催されました。

平成5年卒業の24回生は今年で卒後30年、25回生は29年を迎えました。

今回新たな取り組みといたしまして2学年合同のクラス会を企画しました。

普段から同窓の交流を深めていたFacebookのグループを中心にE-mailや各種SNSなどを用いた完全デジタルな形式での開催を企画し、通知も郵便物などを用いないフルデジタルで行いました。

さらに当日受付の混乱を軽減するために会費は今回、事前振込としました。

新しい時代に則したクラス会の形態を示せたかと思えます。

クラス会当日は、晴天の中、全国から24回生、25回生合わせて61名が参加。

事前振り込みのおかげで受付はスムーズに進み、ドリンクがそろったところでオープニングアクトは、ヴォーカル米山俊之先生とギター佐貫田 尚亮の伴奏による斉藤和義「ずっと好きだった」の披露で始まり一気に会場のボルテージを上げることに成功しました。

開会の挨拶を本学副学長 槻木恵一教授 (24回生)が行い、クラス会の喜ばしさや本学の近況などを伝えていただきました。

乾杯の挨拶を田畑勝彦先生が行うと皆が聞き入り歯科医師の本望や本学同窓の素晴らしさなど再確認する良き機会になりました。

開宴後は、美味しい料理を楽しみながら、飲み放題のアルコールも手伝って昔話に花を咲かせ、近況を伝え合い大いに盛り上がりを見せ中間に催し物、ゲームなども用意しましたが、あまりにもうるさいくらいの盛り上がりで進行が困難なほどでした。(笑)

終盤となり25回生の入江陽一先生が素晴らしいスピーチを行い、そのあとは秦 光潤先生による校歌独唱が始まると皆手を振りながら歌い、まさに一つになる瞬間に感動いたしました。

楽しい時間はあっという間に過ぎ「飲み足りない」「話し足りない」「毎年やろうよ!」の嬉しい声が聞こえる中、高木 亮先生が閉会の挨拶と二次会の案内をして会を締め括りました。

解散が名残惜しい面々での二次会も近隣のカフェバーにて行われ参加40名が思い思い一緒に時間を楽しみました。

この度、2学年での合同クラス会を開催するにあたり、神奈川歯科大学本部同窓会より多大なる理解と助成金をいただきましたこと、誠に感謝する次第であります。コロナ禍も収束し、こうして会えることの幸せを感じた日でした。



南海の桜 —ジャカランダ—

兵頭享治（7回生・愛媛県支部）

20年ほどになりますが、理事長の鹿島 勇先生にお会いした時初めて大学校内にジャカランダの木があるというお話を伺いました。どなたかの教授が50年ほど前に南米より持ち帰られたそうで、その後何十年も花が咲かなかったようです。

当時私は勉強や(?) ドブ板通り(笑) やヨットの部活で忙しく、校内にこれほど美しい花の木が咲く木が存在すること自体気がつく余裕もなく学園生活を過ごしておりました。時を経て、15年ほど前にこの木を庭に植えてみましたところ数年は全く花が咲かず、6年目に入った時点でジャカランダの木に向かって擦りながら「今年咲かなかったら伐採するよ」と話しかけたところ翌年切られたら困ると木が思ったのでしょう、わずかに3~4輪の花を咲かせてくれました。今や立派な巨木に成長し幹周りは85センチ、樹高4メートル以上で毎年満開の状態になり今度は管理が大変な状況になりました。樹高を抑えるために毎年開花が終わったところを見計らって、庭師さんに剪定をお願いしております。もし先生方でこの木を植えてみようと思われましたら、落ち葉の掃除を毎朝しなければならぬことを参考にして下さい。風の強い日は大量に落葉しております。花は次から次へと咲いてくれますの



私です

で、約1ヶ月は楽しめますよ。花の色はオランダの画家フェルメールの好んで使う色で「フェルメールブルー」と言われ非常に美しいです。

毎年、地元新聞が取材に来られ、もはや5月の風物詩となり遠方から写真を撮りにいろいろな方が来られています。



巨木に成長



満開のジャカランダ

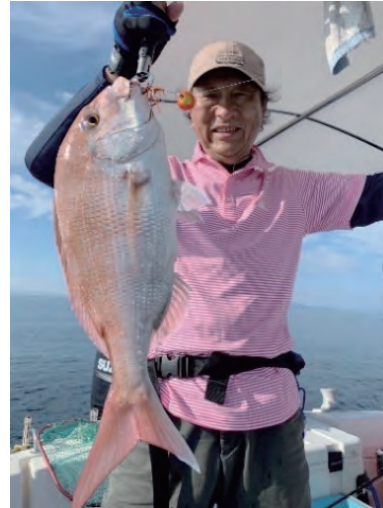
令和4年秋の叙勲表章

旭日双光章 上田敏雄 先生 (7回生 佐賀県支部支部長)

元佐賀県歯科医師会副会長
元伊万里市歯科医師会会長



上田先生 (左) 佐賀県知事 (右)



口腔ケア・訪問診療30年、現在も週4日程度診療を継続されているそうです。

国民健康保険中央会表彰

鈴木敏行 先生 (10回生 本部直属会員)



神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会委員として、多年にわたる功績を表彰されました。

文責 歯科保存学講座 歯内療法学分野 鈴木二郎(19回生)

《褒章・叙勲受章について》

国・都道府県で褒章・叙勲受章された同窓の先生方へ
お名前・回生・支部名・授与章名・日付、写真1枚を事務局にお届出ください。
会報 (HP) でご紹介させていただきます。

令和5年度 新入生

(114名)

荒川 英大	小林 もえ	沼倉 錬
荒川 清華	齋藤 慶太	野口 彩旬
李 原準	榊 菜々子	野口 拓海
李 俊瑞	楠 隼翔	橋本小太郎
伊海友紀恵	坂村 建太	長谷 尚樹
井坂 逸人	佐々木颯良	羽子田涼平
石川 誠也	佐々木りお	早川 楓夏
今宮 亜美	佐藤 拳信	韓 知吾
于 凱洋	佐藤 州晟	菱山 宰
上野 安理	佐藤 大斗	平田 凌央
内田未来音	佐藤 幹人	藤戸 宏知
梅澤理佐子	佐藤 裕太	藤原 大貴
生山 響一	周 奕熠	蒔田 遊士
王 致穎	徐 宛鳳	牧野 優矢
王 喆	徐 寧	松永亜矢子
大澤 美聡	白坂 一道	松原 慧
小花 照太	進藤 聖平	松本 凜
笠井堅汰朗	蘇 世慶	三神 壮輝
勝山 元	末永真里奈	宮原 成美
加藤 優凜	菅沼 俊斗	宮本 竣
加藤 理奈	杉山 伶衣	宮本 康秀
香西 瀬菜	鈴木璃紗子	宮良かのん
狩野 真吾	関根 百萌	諸星 昇武
顔 柏瑜	蘇 裕傑	矢野 遼馬
魏 一鳴	田中 智皓	山内 堅人
北川 碧唯	崔 仁恵	山田 美優
金 材昊	知念 優菜	湯原 輝美
金 熙振	趙 倫廷	葉 科楊
木村 博史	張 効齊	楊 浩正
權 書恩	陳 柏廷	吉野 才登
權 裕率	鄭 鈺子	李 子游
熊谷 光琉	田 笑	李 瑞臨
吳 振群	涂 譚婕	劉 雨鑫
吳 澤生	中川 鷹十	廖 翊辰
吳 東勲	長島 優希	林 敦靚
古賀 万葉	中村 藍	呂 承晞
小島 大弥	中村 桃花	若林 正浩
小林 陸明	西山 真人	渡邊 明音

『正会員』

岩城 裕高	(岩手県支部 12回生)	2022.01.09	ご逝去
奥平 善則	(神奈川県支部 3回生)	2022.09.16	ご逝去
中村 暢男	(千葉県支部 3回生)	2022.10.05	ご逝去
飛永 淳二	(埼玉県支部 3回生)	2022.12.22	ご逝去
岩本 憲	(長崎県支部 4回生)	2022.12.26	ご逝去
影山 英之	(本部直属会員 1回生)	2023.01.28	ご逝去
小澤 康二	(静岡県支部 21回生)	2023.02.12	ご逝去
田辺 裕一	(宮崎県支部 8回生)	2023.03.01	ご逝去
藤山 浩	(神奈川県支部11回生)	2023.03.02	ご逝去
小笠原常彦	(神奈川県支部10回生)	2023.03.15	ご逝去
金子慎一郎	(神奈川県支部26回生)	2023.04.11	ご逝去
川平 孝二	(神奈川県支部 5回生)	2023.04.14	ご逝去
鳥居 憲臣	(愛知県支部 7回生)	2023.05.16	ご逝去
笹原 盤雄	(東京都支部 2回生)	2023.06.09	ご逝去

新ホームページを紹介します

7月1日より同窓会のホームページが新しくなりました。
わが神奈川歯科大学同窓会にもホームページはありますという考えから同窓会と卒業生をつなぐインターネットの広報雑誌をめざします。特に力を入れるのは「会員のページ」です。
各地に散らばった卒業生たちの今を、支部からのお知らせだけでなく、個人の趣味、旅行記、随筆、今日の日記、臨床の裏ワザなどで埋め尽くしてけなし合おうと思っています。
(情報処理部)

《編集後記》

同窓会報第138号に原稿を寄稿して下さいました諸先生方に感謝申し上げます。
広報委員会では校正と紙面の構成を行うために、お寄せ頂いた原稿を先読み致します。今回の会報は学生時代の思い出、卒業後の貴重な体験や経験、それからの近況を寄稿して頂いております。同窓会は 過去、現在、未来を通じて同窓生のみならず人々のつながりを構築していく場と思います。会報は年2回の発行ですが、7月に同窓会ホームページが新たに稼働する予定です。

編集委員：加来めぐみ(9回生) 金子宣由(19回生) 濱野奈穂(30回生) 市田佳子(33回生) /
広報担当常務理事 川端啓義(12回生) / アドバイザー 高橋 朗(12回生)

神奈川歯科大学同窓会会報 138号

発行：神奈川歯科大学同窓会
〒238-8580 横須賀市稲岡町82
TEL：046-825-0524 FAX：046-823-0510
URL:https://inaoka82.com/ E-mail：ob-jimu@kdu.ac.jp



発行人：大館 満
発行日：2023年7月18日
印刷：一世印刷株式会社
〒161-8558 東京都新宿区下落合2-6-22
TEL：03-3952-5651

医科・歯科特化

新規開院 医療法人化 事業承継

税務・会計
TAX ACCOUNTING

SOLUTION
SERVICE

社労士業務
SOCIAL &
LABOR INSURANCE

医業経営
コンサルティング
MEDICAL MANAGEMENT



みなとみらい税理士法人
高田会計事務所

所長・税理士 高田一毅

〒220-0011 横浜市西区高島2-3-25 みなとみらいTAビル
TEL:045-285-8880 FAX:045-285-8881
E-mail: ta@ac-systems.co.jp